

# 島根県ダンススポーツ連盟

## —— これまでのあゆみ

- 平成11年 日本ダンススポーツ連盟(社)<JDSF>が結成される。  
平成16年 日本ダンススポーツ連盟(社)が、日本オリンピック委員会の承認団体に認可される。  
島根県ダンススポーツ連盟立ち上げ、  
島根県体育協会への加盟。  
平成17年 県内では初開催となったJDSF公認大会『第一回島根県ダンススポーツ出雲大会』の実現。  
ダンススポーツ都道府県対抗大会(開催地岡山)に、島根県から初めて選手団を送る。  
平成18年 健康福祉祭ダンススポーツ競技会  
ねりんピック島根県代表選考会開催、  
JDSF公認指導員資格試験開催。

## —— 現在の状況

ダンススポーツ島根大会は、フリー参加のクラスを常設するなど工夫を凝らし、初心者でも多くの愛好者がダンス競技会に参加できるようにしている。  
また、ダンス会員全員がボランティア精神に富み、自ら進んで底辺拡大に努めた結果、県内各地域の公民館サークル・講習会・パーティーなどでも、かなり高いレベルのダンスを普及推進している。

## —— これから

島根県競技会は令和6年で19回になる。  
ブロック大会、全国大会、ダンススポーツグランプリと規模によりさまざまな競技会が開催されている。全国

大会には出場選手が選考され、非常に高いレベルの大会となっている。

また、世界大会には、ダンススポーツグランプリで海外への選手派遣をJDSFが行っている。

一方、ダンスの普及のため、初心者から受験できる技術認定会を開催している。また、指導員を養成するため、修了試験を含めた研修会も定期的に開催している。

島根県ダンススポーツ連盟は、現在JDSF会員50人、JDSF指導員15人になる。

2030年の「島根かみあり国スポ」は、公開競技にダンススポーツが決定された。種目はブレイキン、スタンダード、ラテンである。ダンススポーツが、国民に認知されたのである。

また、「脳と心の可塑性から認知症予防を考える」と題して、物忘れや判断力の低下をどの程度予防できるかを調べる、京都大学大学院の研究により、ダンススポーツが認知症予防に最適であると発表された。

今後は、ダンススポーツを誰でも手軽に楽しみ、生きがいを創出する生涯スポーツへと進めていきたい。そしてそれはコミュニティー豊かな、地域活性化にもつながるものと思う。



島根県健康福祉祭 ダンススポーツ競技大会



第1回島根県ダンススポーツ競技大会 出雲大会